

「びまん型腱滑膜巨細胞腫の治療成績に関する多施設共同研究」  
を行うにあたり、ご協力をお願いします。

#### 【研究対象】

病理組織学的に診断が確定されているびまん型腱滑膜巨細胞腫の患者さん  
で、1992年4月～2014年12月31日に当院で治療を受けられ、3年以上経過  
観察できた方を対象とします。なお、当院での本研究の実施にあたり、東京歯  
科大学市川総合病院倫理審査委員会での承認および病院長の許可をえていま  
す。

#### 【研究の目的・方法】

びまん型腱滑膜巨細胞腫は、40歳以下の比較的若年成人でやや女性に多く発  
生し、発生部位としては膝関節が最も多く、股・足・肘・肩関節などにも発生し  
ます。関節内に腫瘍の増殖に伴って血が溜まる（関節血症）ことをしばしば認め、  
また骨内にも浸潤するため関節軟骨が変性して、二次変形性関節症を生じること  
があります。変性が強くなると、痛みや関節の変形のために人工関節置換術を  
要することもあります。治療は、手術で腫瘍を切除しますが、全てを切除しき  
るのが困難で、再発率は40～50%と高いとされています。びまん型腱滑膜巨細  
胞腫に対して日本で治療を受けられている患者さんは、年間150～200名程度と  
予想されます。そのために、治療後の再発の頻度やその治療内容、また最終的に  
手足の機能がどうであったかについてまとまった報告がなされておられません。  
そこで今回我々は、全国の骨・軟部腫瘍専門施設が集まった骨軟部肉腫治療研究  
会（JMOG）にて多施設で共同研究を行い、びまん型腱滑膜巨細胞腫の治療方法、  
治療成績を詳細に解析し、報告することを計画しています。

方法は、患者様の病状の経過、治療の詳細を各施設で調査します。各施設は匿  
名加工情報化した診療情報を研究事務局（金沢大学医学部整形外科）に送ります。  
事務局は、送られた診療情報をまとめ、解析を行います。

本研究を行うことにより、現在まで本邦の骨・軟部腫瘍専門施設において行っ  
てきたびまん型腱滑膜巨細胞腫の治療方法・治療成績を検討し、今後の成績向  
上のために改善すべき点を明らかにすることができます。

#### 【研究に用いる試料・情報の種類】

初診日、年齢、性別、腫瘍の部位、大きさ、初診時の状態（再発、初発）、外傷歴の有無、初診時画像所見（レントゲン、MRI）、手術日、術式、再発の有無、再発に対する治療、患肢機能等といった診療情報を収集させていただきます。

#### 【外部への試料・情報の提供】

本研究で取り扱う患者様の診療情報は、研究事務局（金沢大学整形外科）にはどなたのものかわからないデータ（匿名加工情報化データ）として使用します。患者様の個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に破棄します。なお連結情報は研究事務局のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。研究事務局へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で電子通信もしくは郵送にて行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

#### 【研究組織】

金沢大学病院整形外科 土屋弘行 ほか  
骨軟部肉腫治療研究会（JMOG:Japanese Musculoskeletal Oncology Group）参加施設 74 機関  
骨軟部肉腫治療研究会公式ホームページ  
<http://www.jmog.jp/map/index.html>

#### 【お問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

ません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

東京歯科大学市川総合病院

整形外科 渡部逸央（研究責任者）

TEL:047-322-0151 FAX:047-325-4456

研究代表者：

金沢大学病院整形外科

土屋弘行

-----以上